

札幌医科大学公開講座

未来医療を実現するニューロリハビリテーションシステムの研究開発 —運動・知覚機能障害を回復する最先端アプローチ—

報道各位

平素から本学の教育研究活動に対し、格別のご高配とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

近年、脳卒中に関わるリハビリテーション分野の研究開発が進んでおり、ニューロリハビリテーションのパラダイムシフトが起こりつつあります。本公開講座では慶應義塾大学医学部リハビリテーション教室の里宇明元教授をお招きし、適応判断に基づいて体系的な先進リハビリテーションをシームレスに提供する「スマートリハ構想」についてご講演いただきます。

また、本学では平成26年度より日本医療研究開発機構（AMED）による「未来医療を実現する医療機器・システムの研究開発／麻痺した運動や知覚の機能を回復する医療機器・システムの研究開発」についての助成を受け、新規的なニューロリハビリテーションの研究開発を行なってきました。今年9月末をもって本学での取り組みを終えるにあたり、これまでの成果をご報告させていただきます。

記

日時：2017年8月28日（月） 18：00 ～

場所：札幌医科大学 教育研究棟1階 講堂

参加料：無料（ホームページより参加登録ができます）

※医療・研究関係、一般の方のご来場も歓迎いたします。

※ご来場に当たっては、公共交通機関をご使用ください。

URL：<https://sites.google.com/site/amedforum2017/>

プログラム

- 1) 「プロジェクトにおける札幌医科大学の役割 ～バーチャルリアリティによる人工身体を用いた脳の賦活化～」
講師：金子 文成（札幌医科大学 保健医療学部 理学療法学第一講座 准教授）
- 2) 「神経科学の成果を臨床現場へ ～スマートリハ構想～」
講師：里宇 明元（慶應義塾大学 医学部 リハビリテーション医学教室 教授）

報道（取材）
に当たって
のお願い

貴紙面・番組等にて、本講座の開催についてぜひご報道くださいますようお願い申し上げます。

担当
（連絡先）

札幌医科大学保健医療学部未来医療ニューロリハビリテーション研究開発部門
担当：岡和田（研究員）TEL：011-611-2111（内線28210）
E-Mail:m.okawada@sapmed.ac.jp

日本医療研究開発機構 (AMED) プロジェクト「未来医療を実現する医療機器・システムの
研究開発 / 麻痺した運動や知覚の機能を回復する医療機器・システムの研究開発」

ニューロリハビリテーションシステム 研究開発の報告会

【日時】 2017年8月28日 (月) 18:00 ~ 19:45

【会場】 札幌医科大学 臨床教育研究棟1階 講堂 (札幌市中央区南1条西17丁目)

【主催】 札幌医科大学 保健医療学部 理学療法学科

【プログラム】

18:00 ~ 開会

座長 **小塚 直樹** (札幌医科大学 保健医療学部 理学療法学第一講座 教授)

18:05 ~

「プロジェクトにおける札幌医科大学の役割
～バーチャルリアリティによる人工身体を用いた脳の賦活化～」

講師 **金子 文成** (札幌医科大学 保健医療学部 理学療法学第一講座 准教授)

18:40 ~

「神経科学の成果を臨床現場へ～スマートリハ構想～」

講師 **里宇 明元** (慶應義塾大学 医学部 リハビリテーション医学教室 教授)

【参加申込】

参加費：無料

事前参加登録にご協力ください

<https://sites.google.com/site/amedforum2017/>

【お問い合わせ】

〒060-8856

札幌市中央区南1条西17丁目 札幌医科大学 保健医療学部 理学療法学第一講座

TEL: 011-611-2111 (内線28200)

E-mail: m.okawada@sapmed.ac.jp (研究支援者 岡和田愛実)